

大阪天満宮曝書

木箱に所蔵されている数万冊の漢書、和書を毎年10月に千冊ほどずつ、一頁一頁を丁寧に開いて風を通す。絵入りの書籍などを手にすると、思わず見入る講員も多い。



「難波職人歌合」(大阪府立中之島図書館蔵)